

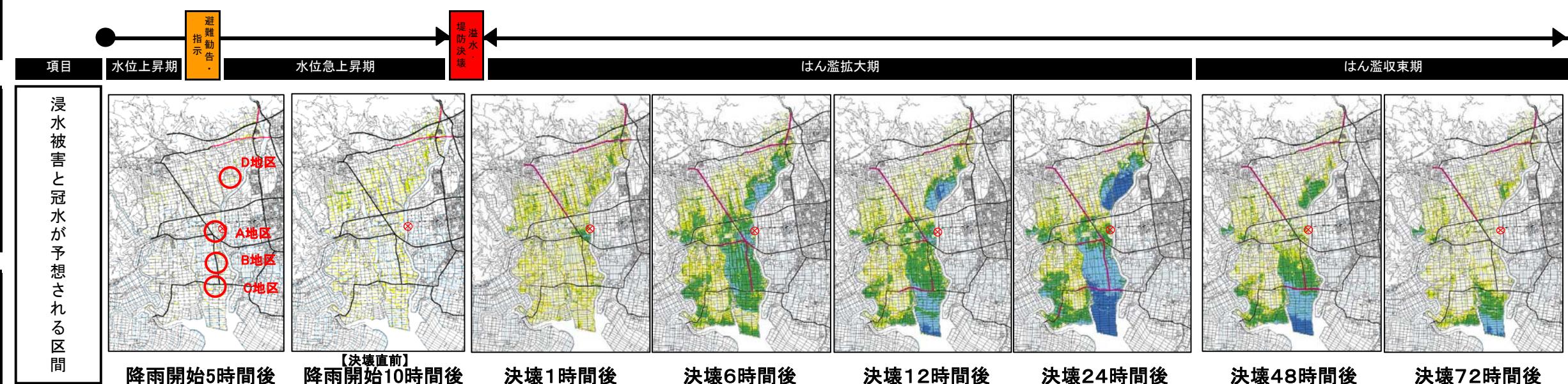
**嘉瀬川 ④久保田流下型はん濫  
(決壊地点:右岸7.0km)**

浸水想定の凡例



【当該ブロックの特性】

【避難所】避難所が浸水で使用不可となる恐れがある。  
【要援護者施設】ケアハウス、老人ホーム、特別養護老人施設において浸水する恐れがある。  
【死者】約55人(避難率0%)  
【孤立者数】約7,100人(避難率0%、1.0日後の場合)  
【通信】浸水深が2m以上となれば、交換所の浸水の恐れがあり、通信サービスの提供に影響が生じる恐れがある。  
【家屋流失】決壊地点から約100mの範囲で居住不可能な家屋被害が出現する。



## 被害項目

浸水区域内人口(人)	約 21,100
浸水面積(ha)	約 4,700
床上浸水(世帯数)	約 3,800
床下浸水(世帯数)	約 2,200
死者数(人)	約 55 (避難率 0%) 約 49 (避難率 10%) 約 33 (避難率 40%) 約 11 (避難率 80%)
孤立者数(人)	約 7,100 (避難率 0%) 約 6,300 (避難率 10%) 約 4,000 (避難率 40%) 約 1,000 (避難率 80%)

※青字: 浸水深



ブロック概要図の凡例



1. 供給 ・電気 ・ガス ・上水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>停電による関連施設への影響の波及</li> <li>* 受電側(居住地など)が浸水により停電発生している可能性が高い</li> <li>●電力: 変電所が浸水対策以上に浸水した場合には電力設備に被害が生じ、供給地域で停電する恐れがある。</li> <li>●LPガス: LPガス容器の流出、LP供給設備の水没による使用不能になる恐れがある。</li> <li>●上水道: 浸水により一部の上水道施設の機能が停止し、断水や水の出が悪くなる恐れがある。</li> </ul>	■道路冠水、インフラ障害による応急復旧活動への影響
2. 衛生処理 ・水害廃棄物 ・防疫	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川からの流入物や建築物の浸水等による廃棄物、粗大ごみなどが一時に大量に発生する恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水害廃棄物発生量は、佐賀市の年間一般廃棄物排出量を上回る約10万t発生する可能性がある。</li> <li>●浸水による生活環境の悪化等により感染症の発生が想定される。</li> </ul>
3. 輸送 ・鉄道 ・道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■内水による移動の困難、渋滞発生</li> <li>■鉄道の運行停止(降雨等の気象状況を基に予め浸水開始前に運行停止)</li> <li>■道路冠水による輸送力の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●決壊後6時間では、嘉瀬川決壊箇所から、佐賀外環状線で冠水が予想される。</li> <li>●放置車両による通行障害</li> </ul>
4. 安全・防犯 ・警察署 ・消防署	<ul style="list-style-type: none"> <li>■浸水による通行止め道路の把握困難</li> <li>■道路冠水による活動支障</li> <li>■放置車両、渋滞による活動支障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■警察署、消防署の周辺の浸水による作業困難化</li> <li>■治安悪化の恐れがある</li> </ul>
5. 情報通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>■停電後非常用電源に切り替わるが、燃料補給できない場合は通信障害発生</li> <li>* パックアップ機能を有するテレビ・ラジオは放送継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浸水深が2m以上となれば、交換所の浸水の恐れがあり、通信サービスの提供に影響が生じる恐れがある。</li> </ul>
6. 避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難所自体が浸水して使用できなくなる恐れがある。</li> <li>■避難所周辺の道路が浸水して孤立化するところが多く出る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■浸水による物資補給困難、避難所での生活必需品不足の恐れ</li> </ul>
7. 防災・水防	<ul style="list-style-type: none"> <li>■浸水範囲、被害の把握が困難</li> <li>■避難所浸水による避難場所の選定、指示が困難</li> <li>■広域的避難要望の増大</li> <li>■要援護者、孤立者の把握困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■道路冠水による水防活動が困難</li> <li>■インターネット不通による防災情報提供の困難</li> <li>●排水ポンプ場や水門等の構造物の冠水の可能性がある。</li> <li>■交通、ライフライン被害の把握困難</li> <li>■行政機関冠水による防災情報提供の不足、遅れ</li> <li>■非常用燃料の供給困難による排水ポンプ場の機能障害</li> <li>■資機材不足による孤立者、要援護者等の救出困難</li> </ul>
8. 福祉・医療・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>■放置車両や道路冠水による患者搬送困難</li> <li>■灾害時要援護者等の避難困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■停電後非常用電源に切り替わる</li> <li>■周辺の浸水により患者の搬送・受け入れが困難</li> <li>■災害時要援護者等の所在の確認困難</li> <li>■燃料補給できない場合は医療活動に支障(病院・福祉施設)</li> <li>■機器冠水による医療活動の支障</li> <li>■医療救護班の不足の恐れ</li> </ul>
9. 居住	<ul style="list-style-type: none"> <li>■入手情報が断片的で状況把握が困難</li> <li>■内水発生による家屋への孤立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●決壊後6時間では、A, B, C地区が浸水深1m以上になり、固定電話を使用した救助要請や防災情報の入手が困難になる。</li> <li>●家屋浸水に伴う停電でTVやインターネットからの防災情報等の入手困難</li> <li>●家屋浸水に伴う停電で固定電話の使用不可／救助要請の伝達が困難</li> </ul>